



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 石井工作研究所 上場取引所 東  
 コード番号 6314 URL http://www.i-kk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理部長 (氏名) 時枝 典生 TEL 097-544-1001  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,419	△8.9	△129	—	△124	—	△43	—
27年3月期第2四半期	1,558	24.5	△172	—	△158	—	△188	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△5.61	—
27年3月期第2四半期	△24.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,402	4,466	82.7	574.64
27年3月期	5,688	4,535	79.7	583.58

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,466百万円 27年3月期 4,535百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当無配）及び配当予想の修正（期末配当無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	2.0	30	—	40	—	110	—	14.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	7,800,000株	27年3月期	7,800,000株
28年3月期2Q	28,006株	27年3月期	27,870株
28年3月期2Q	7,772,064株	27年3月期2Q	7,772,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算説明資料は、平成27年11月20日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国をはじめとするアジア新興国等の景気が下振れし、わが国経済も悪影響を受けるリスクはありますが、企業部門は緩やかな回復基調が続く、個人消費も総じて底堅い動きとなっています。

半導体業界では、データセンター、スマートフォンの高機能化、自動車産業の生産回復や電装化の進展により、先行きに関しては需要の増加が見込まれます。

このような経済状況のなか、当社は半導体関連事業の中でも自動車関連装置の受注に注力しましたが、前期からの不採算案件が継続し、原価が増加した結果、業績は低調な推移となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は14億1千9百万円（前年同期比8.9%減）となり、営業損失は1億2千9百万円（前年同期は1億7千2百万円の営業損失）、経常損失は1億2千4百万円（前年同期は1億5千8百万円の経常損失）、四半期純損失は4千3百万円（前年同期は1億8千8百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①半導体関連事業

全売上高の99.7%を占める半導体関連事業の売上高は、自動車設備関連装置の受注に注力しましたが、前年同四半期比では6.6%減少し、14億1千4百万円となりました。

#### ②不動産・建築関連事業

不動産・建築関連事業の売上高は4百万円（前年同期実績・4千3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は24億6千8百万円となり、前会計年度末に比べ2億5千3百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が2億3千3百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億3千4百万円となり、前会計年度末に比べ3千2百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が3千9百万円増加したものの、有形固定資産が7千万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は54億2百万円となり、前会計年度末に比べ2億8千5百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は7億7千5百万円となり、前会計年度末に比べ2億2千7百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が6千4百万円、電子記録債務が5千7百万円及び短期借入金が4千9百万円等がそれぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1億6千1百万円となり、前会計年度末に比べ1千1百万円増加いたしました。これは主に、その他固定負債が1千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は9億3千6百万円となり、前会計年度末に比べ2億1千6百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は44億6千6百万円となり、前会計年度末に比べ6千9百万円減少いたしました。これは主に、当期純損失の計上4千3百万円及び配当金の支払い1千9百万円等により利益剰余金が6千3百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.7%（前会計年度末は79.7%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月13日付当社「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました平成28年3月期の通期業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「剰余金の配当（中間配当無配）及び配当予想の修正（期末配当無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度まで7期連続で営業損失を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては4期連続でマイナスを計上しております。前事業年度につきましては、営業損失は4億6千6百万円、営業活動によるキャッシュ・フローは5億3千7百万円の支出となりました。当該状況により、将来にわたって事業活動を継続することの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況を改善する為に以下の施策を実施いたします。

- ①顧客の新規設備投資、更新需要増加対応による売上高の増加
- ②事業構造改革によるコストダウン
- ③原価管理の徹底による利益の確保
- ④出図・加工・出荷のスケジュール管理を徹底した納期厳守
- ⑤本社工場から大分曲工場への製造部門集約化による生産性向上
- ⑥遊休資産の活用による収益向上
- ⑦機構・部品の標準化・規格化の推進
- ⑧不動産事業の推進

また、原価管理を徹底するために、工程管理機能をこれまで以上に強化し、設計・製造工程での予算管理を徹底してまいります。営業面では、正確な見積りにより利益の確保に努め、利益率の高い金型・パーツ等の受注増加に力を入れてまいります。

当第2四半期累計期間における営業損益は、前事業年度からの不採算案件が継続し、129百万円の営業赤字を計上いたしました。営業活動によるキャッシュ・フローは、73百万円の収入となりました。

上記施策を実施することにより、通期での営業損益及び営業活動によるキャッシュ・フローの黒字化を図ってまいります。

財政面に関しましては、当第2四半期末時点での借入金残高が300百万円あるものの、現預金残高が739百万円あります。投資有価証券327百万円は全て、貸借対照表計上額が取得原価を超えており、保有目的についてはその他有価証券に分類され、株式持ち合い等の目的によるものではなく、直ちに売買・換金を行うことに制約を伴うものではないため、資金繰りに充当することも可能であり、財政面に支障はないと考えております。更に、取引金融機関に対して継続的な支援が得られるような良好な関係を継続し、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	693,637	739,180
受取手形及び売掛金	1,301,074	1,220,558
電子記録債権	8,035	35,414
有価証券	—	10,028
販売用不動産	—	5,219
商品及び製品	138,844	126,176
仕掛品	458,105	224,367
原材料及び貯蔵品	126,089	143,188
その他	30,803	30,431
貸倒引当金	△34,889	△66,100
流動資産合計	2,721,701	2,468,463
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	616,427	602,129
土地	1,736,917	1,676,917
その他(純額)	119,600	123,456
有形固定資産合計	2,472,945	2,402,503
無形固定資産	17,101	15,148
投資その他の資産	476,924	516,751
固定資産合計	2,966,971	2,934,404
<b>資産合計</b>	<b>5,688,672</b>	<b>5,402,867</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	237,448	172,552
電子記録債務	175,302	117,561
短期借入金	349,000	300,000
未払法人税等	4,349	7,284
引当金	55,390	56,170
その他	181,814	121,760
流動負債合計	1,003,305	775,329
<b>固定負債</b>		
役員退職慰労引当金	16,399	12,362
その他	133,320	149,095
固定負債合計	149,719	161,457
<b>負債合計</b>	<b>1,153,024</b>	<b>936,787</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,186,300	1,186,300
資本剰余金	2,757,259	2,757,259
利益剰余金	533,418	470,353
自己株式	△11,624	△11,694
株主資本合計	4,465,352	4,402,218
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	70,295	63,862
評価・換算差額等合計	70,295	63,862
<b>純資産合計</b>	<b>4,535,648</b>	<b>4,466,080</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,688,672</b>	<b>5,402,867</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,558,418	1,419,148
売上原価	1,503,735	1,316,935
売上総利益	54,682	102,212
販売費及び一般管理費	226,972	231,576
営業損失(△)	△172,289	△129,363
営業外収益		
受取利息	307	69
受取配当金	4,571	4,316
為替差益	3,943	480
補助金収入	2,294	—
駐車場収入	1,692	2,688
その他	1,829	1,791
営業外収益合計	14,639	9,346
営業外費用		
支払利息	918	3,154
支払手数料	—	1,301
その他	73	94
営業外費用合計	992	4,549
経常損失(△)	△158,641	△124,566
特別利益		
固定資産売却益	—	1,179
保険解約返戻金	—	103,937
受取保険金	5,000	—
特別利益合計	5,000	105,117
特別損失		
固定資産売却損	—	103
固定資産除却損	—	32
社葬関連費用	9,243	—
特別損失合計	9,243	135
税引前四半期純損失(△)	△162,885	△19,584
法人税、住民税及び事業税	2,750	3,639
法人税等調整額	22,471	20,410
法人税等合計	25,221	24,050
四半期純損失(△)	△188,107	△43,634

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△162,885	△19,584
減価償却費	40,127	35,735
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	31,211
製品保証引当金の増減額(△は減少)	320	780
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,015	△4,036
受取利息及び受取配当金	△4,878	△4,385
支払利息	918	3,154
受取保険金	△5,000	—
保険解約返戻金	—	△103,937
為替差損益(△は益)	△4,089	162
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,076
固定資産除却損	—	32
売上債権の増減額(△は増加)	297,207	53,137
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,113	226,675
前払費用の増減額(△は増加)	△636	△1,324
未収入金の増減額(△は増加)	321	1,253
立替金の増減額(△は増加)	△1,185	63
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,634	541
長期前払費用の増減額(△は増加)	899	594
前払年金費用の増減額(△は増加)	△63,478	△63,583
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,894	△122,636
未払金の増減額(△は減少)	△14,120	△8,814
未払費用の増減額(△は減少)	2,652	△1,215
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,790	△7,279
その他の流動負債の増減額(△は減少)	19,570	△44,103
その他	△431	△378
小計	19,475	△29,013
利息及び配当金の受取額	4,924	4,385
利息の支払額	△2,139	△3,316
保険金の受取額	5,000	—
保険解約返戻金の受取額	—	103,937
役員退職慰労金の支払額	△443,014	—
法人税等の還付額	—	33
法人税等の支払額	△7,208	△2,136
営業活動によるキャッシュ・フロー	△422,961	73,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,640	△9,724
有形固定資産の売却による収入	—	61,077
投資有価証券の取得による支出	△2,874	△1,249
無形固定資産の取得による支出	△213	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,728	50,103
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△19	△69
短期借入れによる収入	425,000	300,000
短期借入金の返済による支出	—	△349,000
リース債務の返済による支出	△8,265	△9,716
配当金の支払額	△46,147	△19,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,567	△78,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,089	△162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,032	45,543
現金及び現金同等物の期首残高	938,061	693,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	885,028	739,180

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	半導体関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,515,291	43,126	1,558,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,515,291	43,126	1,558,418
セグメント損失(△)	△39,675	△15,324	△55,000

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△55,000
全社費用(注)	△117,289
四半期損益計算書の営業損失(△)	△172,289

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	半導体関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,414,878	4,269	1,419,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,414,878	4,269	1,419,148
セグメント損失(△)	△3,671	△18,656	△22,327

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△22,327
全社費用（注）	△107,035
四半期損益計算書の営業損失（△）	△129,363

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。